

江別市下水道事業中期経営計画（案）に対するパブリックコメントの結果について

1. 意見募集期間：平成25年12月2日（月）から平成26年1月6日（月）まで

2. 提出いただいた意見

(1) 提出者数： 1人

(2) 意見数： 3件

3. ご意見と市の考え方

(1) 考え方の区分

取扱区分	意見の反映状況
A	意見を受けて原案に反映するもの
B	案に反映していないが、今後の進め方等の参考とするもの
C	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの
D	案に反映しなかったもの
E	その他の意見

(2) ご意見と市の考え方

No.	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方	取扱区分
1	<p>計画策定の趣旨について</p> <p>…市民参加が不適切</p> <p>今次計画から外部意見を反映させるため「江別市上下水道事業運営検討委員会」を設置検討する検討委員への市民参加が2名に限定され、さらに公正とは言い難い恣意的な選考で2名に委嘱した。下水道の末端利用者であり料金負担者で、水道事業に意見と知見を有する応募者を意図的に排除したことは、外部の意見を聞く新たな取り組みとして不適切である。議論に参加できず、意見への回答に質問も認めないパブリックコメントで代替することでは解消されない。（この項については必ず検討委員会に報告されたい）</p>	<p>パブリックコメントにお寄せいただいたご意見につきましては、それに対する市の考え方とともに全て公表することになっております。また、いただいたご意見は、上下水道事業運営検討委員会や市民の代表である市議会に報告するとともに、計画策定に当たって十分に検討させていただきます。市民参加へのご意見は、今後の計画やビジョン策定の際の参考とさせていただきます。</p>	E

2	<p>計画の概要</p> <p>…現状データがないので評価や意見の出しようがない。</p> <p>現状が表示されていないが、現状からどう変わるのかが不明で、これまで取り組みの効果を評価できない。市民に意見を求めるためのデータとして不親切で欠陥のデータであると言わざるを得ない。これでは評価や意見のコメントができない。現状のデータ付加の上再度パブリックコメントを求める必要がある。</p>	<p>現計画の実績につきましては、決算書等により市議会や上下水道事業運営検討委員会に報告し、併せて市のホームページでも公開しております。その結果を踏まえて、江別市下水道ビジョンの取組方針に基づく、後期5ヵ年の具体的な実施計画として策定作業を進めております。</p>	B
3	<p>経営基盤強化への取組</p> <p>…取り組み効果が見えない。</p> <p>(1)市民が負担する下水道使用料がどうなるかが示されていないが、利用者としては最大関心事である。使用料にどう反映されるのか明確にされるべきである。有収水量が減る中で主要事業計画通り投資する必要があり、運転経費は横ばい、減価償却費は増加、職員も減らさない見通しであれば、使用料の引き上げは避けられないはずである。総括原価方式でかかっただけ使用料を賦課すればよいとの考え方は改められなければならない。使用料について見通しを明らかにして、使用者の意見を求めるべきである。</p> <p>(2)業務委託を推進し、経営の効率化を図っているが、職員配置人数は維持し、下水道使用料に対する職員給与費も変えない、職員一人当たり営業収益は減る見通しから、実効性のある業務委託推進に本気で取り組むのか疑問である。思いだけでなくデータに表れる業務委託の推進でなければ意味がない。</p>	<p>(1)計画の主要施策としている「健全な下水道経営」の中で、必要な事業は確実に行いつつ、施設の整備や更新についてトータルコストなどの点から最適な手法を検討し、現行の下水道使用料のもとで収支バランスを図りながら実施していく計画としております。</p> <p>(2)業務委託については、快適で衛生的な生活環境の実現やお客さまサービスの向上を前提として、民間に委ねられる業務は可能な限り委託し、引き続き経営の効率化に努めていきます。</p>	B